

今日の中東情勢とフランス外交への影響

La situation actuelle au Moyen-Orient et ses répercussions sur la diplomatie française

～2023年10月7日のハマスによる攻撃を転換点とする
今日の中東情勢をフランス外交の視点から読み解く～



[登壇者]

ファブリス・バランシュ (Fabrice Balanche)
リュミエール・リヨン第二大学准教授。専門は地理学。シリアを中心とする中東研究者。
ワシントン近東政策研究所(2015年～17年)
及びスタンフォード大学(2017年～18年)
客員研究員を歴任。

[コメンテーター]

高橋雅英 中東調査会主任研究員

[司会進行]

小島真智子 上智大学外国語学部准教授



[日時] 2026年 **1月6日** (火) 17時30分～19時30分

[場所] **上智大学四谷キャンパス** 2号館 1701会議室(対面のみ)

[使用言語] 登壇者による講演はフランス語

フランス語から日本語へ同時通訳あり

[対象] 学生・教職員・一般

※学外の方のみ、こちらのQRコードから事前登録が必要です
(ほかは予約不要)

[主催] 上智大学ヨーロッパ研究所 活性化予算プロジェクト
European Institute, Sophia University



今日の中東情勢とフランス外交への影響
～2023年10月7日のハマスによる攻撃を転換点とする今日の中東情勢を～

